

【茶】の【台風】対策について

<7月>

農業経営支援課

(1) 予想される被害状況

- ・ 茶園の冠水、潮風害の発生。
- ・ 幼木の倒伏、落葉。
- ・ 製茶工場の損壊。

(2) 事前対策

- ・ 幼木園では防風ネットを設置し、株元やマルチ資材への土寄せにより、茶株の揺れやマルチのばたつきを防止するとともに、排水対策を行う。
- ・ 2～3年生の茶園では、徒長枝を整せん枝する。
- ・ 製茶工場（煙突、屋根、雨とい、窓等）の点検・整備・補強を行う。

(3) 事後対策

- ・ 風雨による倒伏や地際部に損傷を受けた幼木園では、株元やマルチ資材への土寄せ、補修を行う。
- ・ 降雨が少なく、海からの風で塩分が付着したとみられる茶園では、できるだけ早くスプリンクラー等で散水（5mm以上）し塩分を除去する。
- ・ 強風で葉の損傷を受けた茶園では摘採前日数を考慮して殺菌剤を散布する。
- ・ 滞水・浸食部分の速やかな排水処理と改修を行う。